

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 様

わずか 1 年で回帰テストにかかる コストを約 1,600 万円削減

背景

同社では、富士ゼロックス社の提供する HAYST 法を用いて、少ない件数で高い網羅率となるテストケースを作成し、そのデータを元に自動テストツールを用いて自動打鍵を実施する方法で、GUI のテストの効率化に取り組まれていました。

主に B to B 向けの Web アプリケーションのシステム開発およびテストを実施していましたが、2014 年 9 月に損保ジャパン社と日本興亜損保社が合併した際に、B to C の Web アプリケーションの開発、テストも担当することになりました。

当時利用されていたテスト自動化ツールは Internet Explorer に対応していましたが、一般ユーザー向けの Web アプリケーションのテストを実施するにあたり、Mozilla Firefox や Google Chrome などの別のブラウザ上での動作検証の必要性が生じたことから、マルチブラウザに対応したテストツールを調査し、TestComplete の導入を検討されました。

2015 年 6 月より、「マイページ」(<http://www.sjnk.co.jp/mypage/>) という保険の契約者が契約内容の確認や、登録情報の変更をオンラインで行える ASP.NET のアプリケーションに対して検証を開始され、約 4 ヶ月間で、調査および評価を経て、TestComplete の Floating ライセンスの導入を決定されました。利用フェーズは、単一システム内の組み合わせテストを中心に利用されています。



対象のアプリケーションの概要

「マイページ」の Web アプリケーションから適用を開始し、2016 年には、適用範囲を 5 つのアプリケーションまで拡大され、テスト自動化による工数の削減に取り組みました。



損保ジャパン日本興亜

会社概要

会社名：損害保険ジャパン日本興亜株式会社
本社住所：〒160-8338
東京都新宿区西新宿 1-26-1
創業：1888 年 (明治 21 年)10 月
従業員数：26,380 名
業績概要：2 兆 2,184 億円 (2015 年度)

事業内容

2014 年 9 月、損害保険ジャパンと日本興亜損害保険の合併により誕生した損害保険会社。SOMPO ホールディングスのもとで、国内損害保険事業を展開。

アプリケーション名	アプリケーションとテストの概要	利用者数	元の工数	削減後工数
WINS	B to B の保険代理店様向けのアプリケーションで、約 300 画面で構成される Web アプリケーション。新ブラウザと新 OS の組み合わせに対する回帰テストを実施。	約 5,000 人	4 人月	0.6 人月
マイページ	B to C の保険契約者様向けのアカウントページで、約 260 画面で構成されます。WINS と同様に新ブラウザと新 OS の組み合わせに対する回帰テストを実施。	約 150 万人	8 人月	2.2 人月
e ビジアプリ (J コール)	損保ジャパン日本興亜社のコールセンターで利用されるアプリケーションで、商品改定などのシステムの公開時に回帰テストを実施。	約 2,000 人	0.8 人月	0.2 人月
e ビジ自動車 (e ビジ)	一般のお客様がご自身で自動車保険を契約できるシステム。こちらでも新ブラウザと新 OS の組み合わせに対する回帰テストを実施。	約 20 万人	6 人月	2.86 人月
Off!・HP	海外旅行保険の発券システムで、B to C でお客様が PC やスマートフォンなどからご自身で登録が行えるシステム。年 2 回推奨のブラウザの見直しを行う際にテストを実施。	約 50 万人	8.3 人月	3.6 人月

導入の効果

WINS では、すべてを手動でテストしていた頃と比較すると、アプリケーションに大きな改定が生じた際の工数は 12 人月から、0.5 人月まで減少し、約 96% の工数を削減することができました。

その後、「新ブラウザと新 OS 端末」の組み合わせの回帰テストにも適用した結果、こちらのテストでは前ページの表に示すように、テスト工数が 4 人月から 0.6 人月に削減できました。(約 85% の削減)

また、マイページでは 8 人月が 2.2 人月に削減(約 72.5% の削減)されるなど、大幅な工数削減の効果が報告されています。

その他の 3 つのアプリケーションでも工数削減の効果が得られたことにより、全体で当初の削減目標の 112% を達成することができました。

コスト面では、新ブラウザと新 OS への回帰テストに利用範囲を拡大したことで、結果として定期的に必要な回帰テストだけでも 1,600 万円のコストの削減に繋がりました。

5 つのアプリケーションに対する 2016 年のテスト自動化の効果

■ 工数 : 17.64 人月を削減 (年間) ■ コスト : 約 1,600 万円を削減 (年間)

TestComplete を採用された理由

自動打鍵の機能に加え、画像比較 (マスク機能を含む) や、計算結果の比較を行う際にオブジェクトの値を取り出して比較ができる点、マルチブラウザに対応している点を製品の選定をする際に重要視し、これらの機能要件を満たした上で、手頃な価格で導入できる製品として TestComplete を採用しました。

また、B to C の Web アプリケーションでは最新バージョンのブラウザのテストも欠かせないため、頻繁に更新されるブラウザの新バージョンへの追従の早さも、製品を採用する上で重要なポイントとなりました。

主に利用されている機能

データドリブン、チェックポイント (リージョン、プロパティ)、クロスブラウザなど

利用頻度

アプリケーションの改定、ブラウザのバージョンアップなどのタイミングで利用するため、年間を通して、頻繁に利用しています。

TestComplete の延べ利用者数

30 - 40 名

TestComplete を採用した感想

「既存のアプリケーションに変更が入った際の回帰テストにはすごく威力を発揮します。なぜなら、既にあるテスト シナリオを使用し、テスト結果は以前の物と比較ができるため、テストにかかる工数を最小限に抑えられます。また、OS のバージョンアップなど、環境が変わった際の回帰テストにも有用です。TestComplete による自動打鍵のテストでは、かなりの効果を得られているため、今後も継続して利用していきたい。」と、e マーケティング グループ統括担当部長の渡辺氏は語りました。

今後はモバイル アプリケーション (Android, iOS のネイティブ) に対しても、TestComplete を用いたテストの自動化を適用していく予定です。

導入製品

- TestComplete Platform フローティング ライセンス
- TestComplete Web モジュール フローティング ライセンス
- TestComplete Mobile モジュール フローティング ライセンス

ユーザー情報

SOMPO システムズ株式会社
グループ戦略システム本部
副本部長 兼 e マーケティング
グループ統括担当部長

渡辺 英司 氏

(SOMPO システムズ様では、SOMPO ホールディングスグループの戦略的 IT 企業として、SOMPO ホールディングスが展開する 4 つの事業分野 (国内損保事業、国内生保事業、介護・ヘルスケア事業、海外保険事業) において、ICT 技術でグループ企業を支援しています。)



お問い合わせ先

エクセルソフト株式会社
〒108-0073
東京都港区三田3-9-9
森伝ビル 6F
Tel: 03-5440-7875
Fax: 03-5440-7876
E-mail: xlsoftkk@xlsoft.com